

あおいパーク観賞温室を残して

1831名の要望署名を市長に提出



子育市長（右側）に、1831名の署名を渡す、代表者の下島さん（真ん中）たち 10月20日市役所



現行体制
で今後も
運営を

いまだ業者も発表せず
10月20日 あおいパーク観賞温室応援団」代表下島良一さんなど12名が、小池友妃子市長に要望書1831人分を手渡しました。その後、農業水産課長と1時間に渡って話し合いました。碧南市は2026年4月から指定管理制度として民営化を計画しています。市民に内緒で、業者選定を10月10日に行なっています。しかし一切公表していません。

2025年10月20日
碧南市長 小池 友妃子 様
あおいパーク観賞温室応援団
代表 下島 良一

あおいパークの観賞温室を残すことを求める要望書
私たち「あおいパーク観賞温室応援団」は、碧南市が「あおいパーク改修基本構想」で閉鎖・撤去を予定している観賞温室の存続を求めて、6月22日よりオンライン署名サイトchange.org（チェンジ・ドット・オーグ）上で署名活動を始めました。また、手書き署名にも取り組み、本日までに併せて1,831筆の賛同を集めております。このたびは、小池碧南市長に次の項目についてお願い申し上げます。

要望項目
1, あおいパークの観賞温室を残し、活用してください
碧南市は、「観賞温室の老朽化が著しい」とか「来園者が少ない」等と言いながら、その具体的な根拠も示していません。また、この温室の閉鎖・撤去の構想を明らかにしながら、植物たちをどうするのか等具体的な対応策やスケジュールは明らかにしていません。観賞温室は、植物を展示するだけでなく、花々やテラコッタなどと組み合わせ、おしゃれに見せ、地域農業の振興を図るとともに癒しの空間となっています。観賞温室は、植物を展示するだけでなく、花々やテラコッタなどと組み合わせ、おしゃれに見せ、地域農業の振興を図るとともに癒しの空間となっています。手入れの行き届いた素晴らしい温室を楽しみにしているファンも多くおり、あおいパークの魅力の一つです。せっかく息づいている約350種の貴重な植物を守り育て、地域農業振興の拠点として活用してってください。

以上

現在、観賞温室は農業活性化組合が管理をしています。雇用された5人体制で細かい手入れをしています。水かけ三年」と言われるように専門的な技術が必要です。この体制を持続していくよう求めました。市は「地元雇用は、していきたい」と応えました。

地産地消の拠点なのに植物つぶしていいのかわ
代表者の下島良一さんは「農業活性化や地産地消の拠点施設なのに、28年間育ててきた植物をつぶしていいのかわ」と訴えました。

月に1回植物入れ替え
あおいパークの温室は月1回植物や展示の入れ替えをしています。他の大きな植物園、温室でもこんなに頻繁に入れ替えはしていません。働く方から「他市の方からも残しての声をいただいている。働く場所というより植物への思いを伝えたい」と発言されました。話し合いには山口はるみ議員も同席しました。

観賞会を行ないます
応援団」のみなさんは、月1回の温室観賞会、署名も取り組み、さらに存続の声を広げたいと、参加を呼び掛けています。

国民そっちのけ 自民・維新 高市政権発足

国民の声つぶす定数削減 民主主義と平和を守る力で反撃を

高市自維政権 発足

衆参両院は21日、臨時国会で首相指名選挙を行い、自民党の高市早苗総裁を首相に選出、高市氏は同日夜までに組閣を終えました。

衆院本会議での首相指名選挙の投票総数は465票。1回目の投票で高市氏が半数（233）を超える237票を獲得。日本共産党の議員は田村智子委員長に投票しました。参院本会議での投票総数は246票。1回目の投票で過半数（124）を得た候補はおらず、高市氏と立憲民主党の野田佳彦代表による決選投票となりました。決選投票では高市氏125票、野田氏46票、無効票47票、白票28票でした。日本共産党の議員は1回目の投票で田村智子委員長に投票し、決選投票は白票を投じました。

立憲 野田 定数削減に 大賛成

日本共産党の小池晃書記局長は同日の東京・有楽町駅前での街頭演説で、自民と維新が臨時国会での成立を狙



(写真) 「比例削減勝手に決めるな」「スパイ防止法反対」と声を上げる人たち＝21日、衆院第2議員会館前

う衆院議員の定数1割削減について、野田代表が「大賛成」と述べたこと言及。見過ごせない発言だ。そのため、今回は白票という対応をした」と述べました。立憲民主党は、民主主義を脅かす定数削減、とくに比例代表の削減にきっぱり反対すべきだ。臨時国会で短時間で強行することなどは絶対に許してはいけません」と主張しました。

「総がかり」など行動
戦前回帰止めよう

国会議員定数削減、「スパイ防止法」の強行を狙う高市早苗、自維連立政権が発足した21日、衆院第2議員会館前で「改憲反対！税金は軍拡ではなく暮らしに！臨時国会開会日行動」が行われました。総がかり行動実行委員会、9条改憲NO！全国市民アクション、共謀罪NO！実行委員会が共催し、300人、主催者発表）が参加。比例削減「勝手に決めるな」などボードでアピールしました。

反動政権への危機感広げよう

主催者あいさつで総がかり行動実行委の菱山南帆子共代表は、女性初の首相というが、戦前回帰のような内閣が誕生することに最大の危機感を持つ。民主主義、立憲主義を掲げる野党と一致団結して臨時国会をたたかい抜こう」と呼びかけました。

スパイ防止法、基地建設中止を

日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）の岩崎貞明事務局次長は「スパイ防止法」について、メディアのよりに情報を集めて人々に伝える仕事は摘発の対象になりかねない。断固反対する。改憲問題対策法律家6団体連絡会の塚本和也弁護士は、鹿児島県馬毛島（まげしま）で進む環境破壊の基地建設の中止を訴えました。日本共産党の辰巳孝太郎、田村貴昭両衆院議員、岩淵友、吉良よし子、大門実紀史、仁比聡平、山添拓の各参院議員、立憲民主党、社民党、沖縄の風」の国会議員が参加しました。仁比氏は、安保法制、消費税増税、社会保障削減、差別と排外主義の助長など自民党の悪政を批判。衆院比例定数削減は断じて許されぬ。民主主義を生かす大きな共同を広げ、自維を立ち往生させよう」と訴えました。

日本共産党碧南市議団




市議会議員 山口はるみ ☎42-8940 三度山町 2-70-4

市議会議員 磯貝明彦 ☎48-2718 若松町 3-253


大軍拡・大増税許すな

11月19日(水) 19 行動

へきなん

午前11時～12時 ピアゴ碧南東店 碧南市東浦町6-17

申込はここから



電車でも！海外でも！ どこでも読める

赤旗日曜版 電子版 990円

申し込みスタートしたよ！



日本共産党